

## 捕虜・行方不明兵士を称える24時間追悼ラン *It's 24-hr vigil run honors POW/MIA service members*

September 25, 2024

By Senior Airman Alexzandra Gracey  
374th Airlift Wing Public Affairs

チーム横田のメンバーは9月19日と20日、「全米捕虜・行方不明者追悼の日」を記念して、24時間ランや式典等の追悼行事を行った。

「全米捕虜・行方不明者追悼の日」は、戦争で捕虜となった兵士や、現在も行方不明のままの8万1000人以上の兵士を思い起こし、称える日である。

献花と横田基地のリーダーシップによる挨拶の後、サムライ・フィットネスセンターのトラックで24時間追悼ランがスタートした。24時間にわたり、基地内のさまざまなグループが交代で星条旗と捕虜・行方不明兵士の旗を持ち、リレー形式でトラックを走り続けた。追悼ランの後、第374空輸航空団司令部の建物前での式典をもって閉幕した。

第374空輸航空団副司令官ブレット・コクラン大佐は、「毎年この日に我々は立ち止まり、捕虜・行方不明の英雄たちとの絆を再確認し、その犠牲に深い敬意を表す」と述べた。

